

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 磐田見付分校 P T A
学 校 名	静岡県立袋井特別支援学校 磐田見付分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	44人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	フライングディスク
使用学年及び人数	令和4年度の1、2年生26人、令和5年度の2年生12人
使用頻度	授業回数として令和4年度1、2年生は3回、令和5年度2年生は1回
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、2～3月に体育の授業で単元を設定して実施した。</li> <li>・令和5年度は、4月にLHRで実施した。</li> <li>・ディスクをより遠くに投げ、最長距離を競う「ディスタンス」と、ディスクを投げ、目標の的の中をより多く通過させようと挑戦する「アキュラシー」の両種目について、チームに分かれて試合を行った。</li> </ul>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての道具がそろっていることで、個別練習だけでなく、チームに分かれての試合も行うことができた。</li> <li>・試合を行う中で、分担された自分の役割を果たしたり、仲間と連携したりする姿が見られた。</li> <li>・複数の種目に取り組み、様々な楽しみ方を知ることによって、積極性、自主性を引き出すことができた。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3月には、令和5年度の1、2年生が体育の授業で取り組む予定になっている。</li> <li>・ルールを理解し、自分の技能を高めるだけでなく、チームの仲間と練習方法や作戦を考えながら、協力して取り組めるようにしたい。その取組を通して、自分で考え、判断する力や考えたことを伝える力を身に付けられるようにしたい。</li> </ul>
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄贈していただいたフライングディスクの価値を繰り返し生徒に伝え、いつでも、どこでも、簡単に、安全に取り組めるスポーツとしてこれからも長く楽しめるように働き掛けていきたいと思っております。</li> </ul>

## 2. 活用の様子

